



新潟県障害者交流センターの取り組み

(新潟ふれ愛プラザ指定管理者)

(福)豊潤舎・(福)県身連・(福)県視障協・県障スポ協グループ



- (県立4施設)
- 障害者交流センター
- リハビリセンター
- 視覚障害者情報センター
- 聴覚障害者情報センター
- (入居団体)
- 身体障害者団体連合会
- 視覚障害者協会
- 聴覚障害者協会
- 障害者スポーツ協会
- 盲ろう者派遣事務局
- 肢体不自由児父母の会 他

新潟県のパラスポーツの拠点と三者一体運営



【新潟県障害者交流センターの管理運営】

(福)新潟県身体障害者団体連合会

新潟県障害者スポーツ協会

新潟県障害者スポーツ指導者協議会

組織一体化と新潟のセンターの方向性

モデル障がい者スポーツセンターの真似はするな！

・・・予算規模が違い過ぎる

予算もない、人員もなければ、志を同じにする組織が
一致団結してやるしかない

人・カネ・場所・モノ・情報を共有する

2本の柱

～地域普及～

～競技力向上～

より広く！より高く！

地域への普及促進



十日町市
総合型スポーツクラブが土
台となり、数々の障がい者
スポーツサークルが発足

2023/3/22



佐渡市市
障がい者スポーツ協会やFD
協会設立、大会、イベント、
定期練習会を実施

競技力向上



東京パラ
銀メダル山田美幸

銅メダル永田務

車いすBBU23世界選手権
優勝 知野充希

おわりに～

福祉からスポーツへのメリットとデメリット

【メリット】

- ・アスリートにとっては環境が劇的によくなった
- ・広く国民に障がいについて理解促進が進んだ

一方で【デメリット】

- ・市町村の福祉課の距離はどんどん離れていく
- ・市町村のスポーツ課は理解促進と支援者育成から先に進まない（障がい者不在のパラスポーツ？）

特に市町村は初志の「スポーツと福祉の連携」が必要！